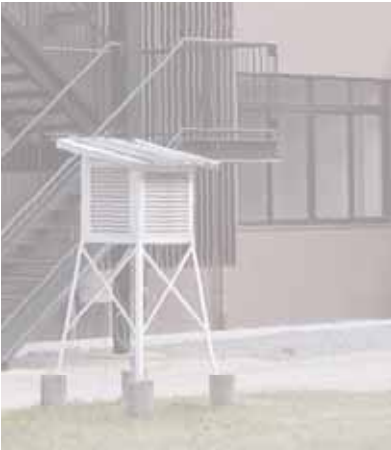


# 香川大学博物館

# 5年間の歩み

2013.5



## ごあいさつ

2011年4月から三代目の館長を務めて2年余りが経ちました。この間に開催した「小惑星探査機『はやぶさ』帰還カプセル展」では5日間で1万人以上の来場者があり、会期中に本学教育学部の「未来からの留学生」が同時開催されるという学内連携も生まれました。「はやぶさ」帰還カプセルの大学博物館での展示は全国で2機関のみで、小規模な本館で展示できたのは学内外のご支援の賜物と感謝しております。開館5周年記念特別展「フクイサウルスがやってきた！～骨から学ぶ生物進化～」を2013年3月7日(木)から1ヵ月間開催しましたが、会期中は日曜日に祝祭日も特別開館し、メディア紹介も相まって2,185名の来場者がありました。いずれも借り物の目玉展示だけでなく、本館の所蔵標本や学内の教育研究成果を組み合わせ展示を行いました。

平成25年度文部科学大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)を本館の開館以前から活動に関わってきた5名が2013年4月16日に受賞しました。これまでの活動によって、大学博物館を拠点とした自然史科学に関する学内外との交流および協働が実現し、地元住民の自然史系標本資料に対する関心と意識が高まるなど、科学への理解増進に大きく寄与したことが評価されたものですが、これまでの博物館会議委員、企画展および特別展実行委員会の委員、ミュージアム・レクチャーおよびサイエンス・パートナーシップ・プロジェクトの講師、体験教室やものづくり教室の講師役を務めた学生、所掌する事務組織と博物館スタッフの協力と協働がなければ、成し遂げるとげることができなかつたのは言うまでもありません。今回の受賞に際し、香川県知事、高松市長および香川県教育長を表敬訪問し、受賞を報告するとともに、今後も地域および学校との連携を一層深めていくことについて意見を述べ合うことができました。

本館は、四国で最初の大学博物館としてスタートしましたが全国的にみれば後発です。しかし、大学博物館等協議会加盟機関や地域からは活動が注目されており、社会貢献・地域連携活動については相応の評価を得ていると思えます。これまでは、能や剣の修行・習得の段階における「守破離」の「守」の段階で、他機関の活動を真似ながら学んできました。今後は「破」の段階に進み、新たな取り組みを始めたいと考えています。例えば展示計画においては、これまでの常設展・企画展交代型から常設展に平行して企画展を開催、さらに規模の異なる企画展の平行開催なども、施設や体制が充実した際には試みるつもりです。大学博物館は、教育・研究・社会貢献の知の拠点としての大学の縮図であり一翼を担う存在であるべきであると考え、今後も学内外との協働を進めていく所存です。



香川大学博物館長  
寺林 優

開館  
5周年記念  
特別展

## フクイサウルスがやってきた！～骨から学ぶ生物進化～

期 間：2013年3月7日(木)～4月7日(日)

入場者：2,185名

2013年4月に開館5周年を迎えるにあたって特別展を開催し、福井県立恐竜博物館の協力でフクイサウルス・テトリエンシスとフクイラプトル・キタダニエンシスの復元全身骨格標本、株式会社日本ドルフィンセンターの協力でスナメリの骨格標本、本館所蔵のヒト、黒毛和牛、ネコ、ニワトリ等の骨格標本を展示



後 援：社団法人香川県獣医師会  
協 力：福井県立恐竜博物館、株式会社日本ドルフィンセンター  
協 賛：株式会社桜製作所、近藤電子株式会社、太洋物産株式会社、株式会社成豊堂、株式会社レアスイート



第26回  
ミュージアム  
レクチャー

### 「骨付き鳥の恐竜学」

年月日：2013年3月16日(土)

講 師：松本由樹(特別展実行委員会委員、農学研究院准教授)

会 場：香川大学博物館実習スペース・展示室・博物館前スペース

参加者：33名



骨付き鳥の恐竜学

第27回  
ミュージアム  
レクチャー

### 「クジラの祖先是4本足で陸上を歩いていた」

年月日：2013年3月28日(木)

講 師：石川 創(公益財団法人下関海洋アカデミー鯨類研究室室長)

寺山弘樹(株式会社日本ドルフィンセンター代表取締役社長)

会 場：e-とぴあ・かがわ 5F BBスクエア

参加者：60名



クジラの祖先是4本足で陸上を歩いていた

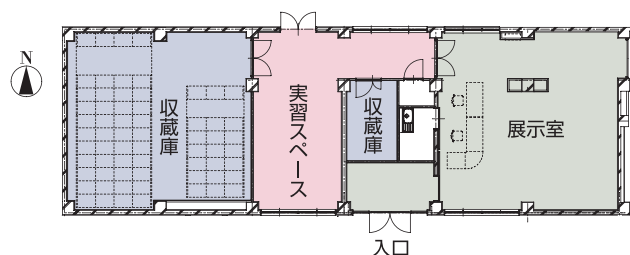
## 理念と目標

香川大学博物館は、香川大学と地域との連携を文化面から深めるために以下のような理念と目標を持って設置されました。

1. 香川大学の教育・研究において蓄積された数万点に及ぶ標本・資料・発明品などの知的財産の収集・保管・研究活動に重点を置く。
2. 香川大学における教育・研究の成果を活かし、地域の自然や文化を研究する市民研究者や郷土史家、小中高の教員、学芸員、サイエンスボランティアなどの研修や交流の場としての「教育・研究型」博物館。
3. 香川大学の教職員がその専門的な知識や経験を生かして、香川県全域に展開するさまざまな博物館・資料館、及び歴史、地理、生物、地学、科学などに関する研究団体などの研究活動を支援する「地域密着型」博物館。

## 施設

香川大学博物館は、香川大学幸町北キャンパス幸町北1号館の1階にあり、展示室、収蔵庫、実習スペースを備え、延床面積約250㎡です。



## 活動

### 1. 収集・保存

香川大学の全ての学部、各学科、各研究室などに所蔵されている標本・資料のリストを作成しウェブサイトで公開する。大学の教育・研究活動によって増加する標本・資料を収集・保管する。さらに学外から寄贈・寄託される標本・資料を積極的に受託する。



### 2. 展示・交流

博物館の基本的性格を示す常設展のほかに、学内の教育研究成果や、大学博物館と学外のさまざまな個人、団体との協力によって多様な企画展を開催する。

### 3. 教育・普及

「モノ」を通して、真理を学ぶ生涯学習の場を提供する。本学教職員や学外協力員をミュージアム・アドバイザーとして、学生や学外の個人、団体が共に研究し、学ぶ「協育」を基本とする。多彩なテーマのミュージアム・レクチャーを開講する。企画展のテーマにあわせた公開講座を香川大学生涯学習教育研究センターと協力して開講する。



### 〈高松高等商業学校〉

1928(昭和3)年

9月12日 御大典奉祝事業として商業博物館の設置が決定

1929(昭和4)年

4月26日 商業博物館規定、および主事1名と委員11名が決定  
5月9日～12日 第1回臨時展覧会開催  
(出品総数1,663点)

### 〈香川県師範学校〉

1930(昭和5)年

文部省より郷土研究施設費が交付される  
→「郷土室」開設

1933(昭和8)年

10月 「郷土館施設概要」刊行

### 〈香川県女子師範学校〉

1930(昭和5)年

8月 文部省より郷土研究施設費が交付される  
→「郷土研究室」開設

1933(昭和8)年

3月 郷土研究室新設(手狭になったため)  
9月 「郷土室施設概要並に目録」刊行

1949(昭和24)年

香川大学が発足(経済学部・学芸学部)

1955(昭和30)年

農学部設置(香川県立農科大学が移管)

1956(昭和31)年

神原文庫の寄贈

1966(昭和41)年

学芸学部が教育学部に改称

1978(昭和53)年

香川医科大学開学

1981(昭和56)年

法学部設置

1997(平成9)年

工学部設置

2003(平成15)年

旧香川大学と香川医科大学が統合し、新しい香川大学が発足

2005(平成17)年

1月 木村好次学長の指示で大学博物館設置に関する研究会が発足  
3月 「香川大学(仮称)『大学博物館』設置趣旨」が役員会で承認  
5月 平成17年度学長裁量経費「大学博物館(仮称)設置計画に関する調査・研究」のため香川大学博物館研究機構が発足(代表 岡野 眞工学部教授)  
10月 国立大学博物館等協議会にオブザーバー加盟

2006(平成18)年

3月 名誉教授座談会「大学博物館について」開催  
4月 博物館委員会が発足  
6月 国立大学博物館等協議会に加入  
12月 「香川大学『大学博物館』設置計画書」が役員会で審議され、「香川大学博物館」として平成19年4月1日付けで設置することが承認

2007(平成19)年

1月 第1回学外特別展「香川大学のあしあと」開催  
4月 図書館・情報機構内に「博物館」設置

2008(平成20)年

1月 第2回学外特別展「かがわの里山」、公開シンポジウム「大学の資源を地域の教育に生かす～大学博物館の目指すもの～」開催  
3月 博物館の竣工  
4月 ホームページ公開・一般公開開始(24日)

# 常設展示

## 教育学部

国分台遺跡の  
含火山灰土と旧石器  
(坂東祐司先生からの贈り物)



## 教育学部

北投石  
(中華民国台北市北投温泉)



## 教育学部

瀬戸内海産貝類標本  
(畠山祥一郎コレクション)



## 法学部

英国単語圖解  
市川央坡2巻明治5~7刊  
(香川大学神原文庫)



## 経済学部

弥生土器  
(農学部遺跡・約2300年前)



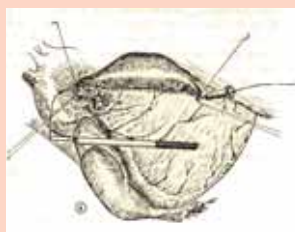
## 経済学部

足跡剥ぎ取り標本  
(農学部遺跡・奈良時代末期)



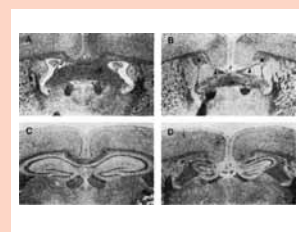
## 医学部

ワイヤーガイドナイフ  
(心臓血管手術用メス)



## 医学部

脳梁欠損マウス  
(回避学習用の実験動物)



## 工学部

摩擦試験機  
(昭和49年製)



## 工学部

香川発超小型人工衛星  
(2009年打上げKUKAIの模型)



## 工学部

岩石  
(世界最古の岩石など)



## 工学部

長尾断層剥ぎ取り標本  
(香川県三木町水上)



## 農学部

香川の昆虫今昔  
(里山の生物相の変遷)



## 農学部

香川大学オリジナルワイン  
ソヴァージュ・ヌ・サヴルーズ  
(農学部交配品種「香大農R-1」使用)



## 農学部

酒米「さぬきよいまい」  
(1990年から農学部で  
育種がスタート)



## 農学部



希少糖  
(自然界での存在量が少ない  
糖の大量生産に成功)



## データベース

学術標本資料の情報を一元的に管理し、学内の教職員や学生はもとより、学外の方々も情報を利用できるようなデータベースの構築をめざして整備を進めています。現時点では、登録・収蔵標本の概要についてウェブサイトで紹介するとともに、農学部保管されている1960年代に採集された昆虫標本（松沢コレクション）を中心とした所蔵標本のデータベースを作成中です。これまでに1,841個体の標本が整理されていますが、まだ膨大な量の標本が未整理のままです。今後は、2001年に活動が始まった国際科学プロジェクトであるGBIF（Global Biodiversity Information Facility = 地球規模生物多様性情報機構）にも利用可能な形式のデータベース化をすすめるとともに、自然科学系の標本のうち、ある程度まとまったコレクションがあるものについては、順次データベースを作成して公開する予定です。

### 松沢コレクションの一部

	オオミドリシジミ		シートテハ
	香川県三木町		香川県三木町
	1958年6月5日		1958年8月6日
	Saekusa, K		Saekusa, K
<p>香川県では準絶滅危惧種に指定されており、近年三木町周辺では見ることはまれ。</p>		<p>西南日本で近年ほとんど記録がなく、各県で絶滅種とされている。香川県でも1980年代を最後に記録が途絶えている。</p>	

香川大学博物館のウェブサイトでは、標本資料のデータベースに加え、これまでに開催した「学外特別展」と「企画展」の展示パネル等も公開しています。

## 入館者数・主な団体

	2008 (平成20)年度	2009 (平成21)年度	2010 (平成22)年度	2011 (平成23)年度	2012 (平成24)年度
入館者数	3,927人	2,249人	2,473人	12,143人	5,510人
開館日数	210日	228日	215日	211日	213日
香川大学 関係	教育学部：授業「社会教育課題研究II」、同窓会連合会：ホームカミングデー	全学共通：教養実験「地学P」、教養ゼミナール「街の化石と岩石」、経済学部：授業「観光地理学」、工学部：授業「数理演習II」、地学サロン	全学共通：教養ゼミナール「街の化石と岩石」、生涯学習教育研究センター：公開講座「讃岐ジオサイト探訪」、同窓会連合会：ホームカミングデー	経済学部：授業「演習」、全学共通（夜間主コース）：授業「地学」、工学部・農学部：教職「地学実験」	全学共通：授業「地学G」、「歴史学A」、経済学部：授業「演習」、「観光資源論」、同窓会連合会：ホームカミングデー
学校・ PTA等	香川県立高松東高等学校、香川県立高松南高等学校、香川県立香川中央高等学校、香川県立琴平高等学校、岡山龍谷高等学校、香川大学教育学部附属坂出中学校、高松市立亀阜小学校、香川大学教育学部附属特別支援学校、讃岐学園、西春日保育所学童保育	香川県立三本松高等学校、香川県立三木高等学校、香川県立高松南高等学校、香川県立香川中央高等学校、香川県立琴平高等学校、香川県立高瀬高等学校、香川大学教育学部附属高松中学校、香川大学教育学部附属高松小学校、二番丁幼稚園	香川県立三木高等学校、香川県立香川中央高等学校、高松市立桜町中学校、高松市立亀阜小学校、香川県立高松養護学校、香川大学教育学部附属特別支援学校、岡山県立笠岡商業高等学校PTA、鳥取中央育英高等学校PTA	埼玉大学教育学部、高松市立第一高等学校、高松市立紫雲中学校、高松市立亀阜小学校、高松市立新番丁小学校、香川大学教育学部附属高松小学校	名古屋工業大学、香川県立三木高等学校、香川県立高松南高等学校、香川県立香川中央高等学校、香川県立丸亀高等学校、香川県立善通寺第一高等学校、香川県立高瀬高等学校、香川県立藤井高等学校、広島県立尾道北高等学校
その他	三木町文化財保護協会、三豊市消費者友の会、第1回日本地学オリピック	コズミックカレッジ2009、第2回日本地学オリピック	和歌山市立博物館	宇宙少年団香川小惑星分団	コズミックカレッジ2012、名古屋科学館、どりいみんぐアカデミー、扇町保育所

## 特別展

### サヌカイト標本展示開始記念式典

年月日：2005年7月11日(月)  
 会場：香川大学工学部 3号館1階エントランスホール  
 内容：工学部創設時に前田聖一氏より寄贈されたサヌカイトの標本を展示



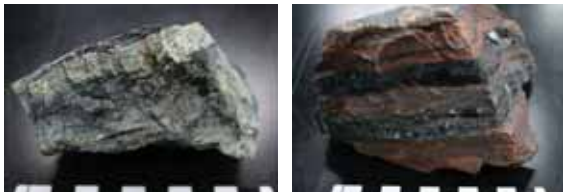
### 木村好次学長退任記念特別展

期間：2005年9月20日(火)～11月3日(木)  
 会場：香川大学工学部 3号館1階エントランスホール  
 内容：木村好次学長の研究業績に対して贈られたトライボロジーゴールドメダルに関する展示

### 緊急展示

#### 「アスベスト問題(1)アスベストとは何か」

年月日：2005年11月3日(木)  
 会場：香川大学工学部 2号館1階  
 内容：工学部オープンキャンパスでアスベスト原石を展示



### The Wonder Box

#### ユニヴァーシティ・ミュージアム合同展

期間：2006年11月4日(土)～12月17日(日)  
 会場：東京藝術大学大学美術館  
 内容：「会話する足跡－香川大学農学部遺跡」を出品

### ■2007年度香川大学公開シンポジウム

#### 大学の資源を地域の教育に生かす ～大学博物館の目指すもの～

年月日：2008年1月24日(木)  
 講師：林 良博 (東京大学総合研究博物館長)  
 田井静明 (香川県歴史博物館主任専門職員)  
 丹羽佑一 (香川大学博物館長、香川大学経済学部教授)  
 清國祐二 (香川大学生涯学習教育研究センター長)  
 会場：高松市生涯学習センターまなび CAN 多目的ホール  
 参加者：80名  
 主催：香川大学生涯学習教育研究センター  
 共催：香川大学博物館

### 第1回学外特別展「香川大学のあしあと」

期間：2007年1月23日(火)～28日(日)  
 会場：ヨンデンプラザ高松1Fギャラリー  
 入場者：911名



### 第2回学外特別展「かがわの里山」

期間：2008年1月22日(火)～27日(日)  
 会場：ヨンデンプラザ高松1Fギャラリー  
 入場者：507名



## 企画展

第1回  
企画展

## ウズベキスタンの現代建築と世界遺産

期 間：2008年6月3日(火)～28日(土)

入場者：475名

中央アジアの中核をしめるウズベキスタンは、シルクロードの中核をしめていた。首都タシケントと世界遺産に登録されているブラハ、ヒヴァ、サマルカンド、シャフリサーヴスの5つのオアシス都市ご



とに、現代建築と伝統的建築のパネルを展示。生活空間をいろどる小物類（スザニ、絹織物、土人形、陶器、装飾小物、細密画など）を展示

共 催：ウズベキスタン文化・芸術フォーラム基金駐日代表部、世界麺フェスタ2008 in さぬき実行委員会  
協 力：キュレイトーズ(東京)、中央アジアユーラシアクラブ(群馬)

特別  
講演会

## 「シルクロードの国々の現状 ～独立後の経済開発～」

年月日：2008年6月13日(金)

講 師：田中哲二 (中央アジア・コーカサス研究所副理事長兼所長、国連大学学長上級顧問)

会 場：香川大学研究交流棟5階 研究者交流スペース

参加者：89名

共 催：放送大学香川学習センター、香川大学経済学部



## 講演会

## 「ウズベキスタンの現代建築と装飾的建築」

年月日：2008年6月14日(土)

講 師：岡野 眞 (企画展実行委員会委員長、工学部教授)

会 場：香川大学研究交流棟6階 生涯学習教育研究センター講義室

参加者：講演会 53名・ミュージアムトーク 20名

第2回  
企画展

## 昆虫のふしぎ

期 間：2008年7月23日(水)～9月20日(土)

入場者：1,302名

香川県立農業専門学校(香川大学農学部的前身)昆虫学教室の初代教授岩田久二博士が研究した香川県の昆虫、香川県の87種のアリ、三木町白山のチョウ、オリーブの宿敵・オリーブアナアキゾウムシ、



クスギなどの樹液をめぐる昆虫類を展示。昆虫のふしぎ(性的二型と性淘汰、擬態、ふしぎな形・美しい色、個体変異・地理的変異・種分化へ)に関する標本を展示。大屋崇博士(三豊総合病院元副院長)のトリバネアゲハコレクションを特別展示

共 催：香川大学農学部

協 力：大屋 崇 博士

公開  
講座

## 「『モノ』の見方 ～研究はじめての第一歩～」

年月日：2008年7月23日(水)・24日(木)・25日(金)

講 師：安井行雄 (企画展実行委員会委員長、農学部准教授)

寺林 優 (博物館副館長、工学部准教授)

丹羽佑一 (博物館長、経済学部教授)

会 場：香川大学博物館実習スペース

参加者：1日目(昆虫標本) 28名

2日目(化石) 26名

3日目(石器・土器) 25名



第3回  
企画展

## 瀬戸内の海・干潟・海浜の生き物

期 間：2009年7月23日(木)～8月29日(土) 入場者：578名

瀬戸内の海中と海辺の様子を探る展示。「海」瀬戸内海を支えているのはとても小さな生き物たち。これらの微小生物や香川大学工学部で開発された人工漁礁等を展示。「干潟」海でもあり、陸でもある干潟に生息する生物を展示。「海浜」高温や乾燥、海水による塩害など、生物にとってはたいへん厳しい環境のため、生物の多様性は決して高くはないが、このような場所でしか見ることができない海浜植物や昆虫等を展示



共 催：香川大学瀬戸内圏研究センター  
協 力：株式会社日本ドルフィンセンター、NPO法人日本ドルフィンセラピー協会



公開  
講座

### 「海岸の砂浜や海にすんでいる生物を調べよう」

年月日：2009年8月4日(火)・5日(水)・6日(木)  
講 師：伊藤文紀 (企画展実行委員会委員長・博物館副館長、農学部教授)  
末永慶寛 (工学部教授)  
松本一範 (教育学部准教授)  
会 場：香川大学博物館実習スペース  
参加者：1日目(干潟にすむ生物) 23名  
2日目(海の特徴と魚の性質に応じた魚礁) 23名  
3日目(魚の性の不思議) 25名



第4回  
企画展

## 瀬戸内今昔観光遊覧

期 間：2009年10月31日(土)～11月28日(土) 入場者：478名

旧石器時代から弥生時代までの石器・石材中、西日本で最も広く用いられた香川県の名産サヌカイト。古代瀬戸内海域に広く流通したのは何故か、坂出市金山の発掘出土品を展示して紹介。



1934(昭和9)年に指定された日本で最初の国立公園のひとつが瀬戸内国立公園。当時の瀬戸内海の景観を示す珍しい資料を展示。遠藤亮氏の新発見大阪城残念石、さぬき市教育委員会の調査による大串半島の中世石切場の資料も特別展示

共 催：香川大学瀬戸内圏研究センター  
協 力：香川大学生涯学習教育研究センター



第6回  
ミュージアム  
レクチャー

### 「瀬戸内今昔観光遊覧」

年月日：2009年11月14日(土)  
講 師：稲田道彦 (企画展実行委員会委員長、経済学部教授)  
丹羽佑一 (博物館長、経済学部教授)  
会 場：香川大学博物館展示室  
参加者：30名





第5回  
企画展

## アリの世界「○○してみる」研究室

期 間：2010年7月23日(金)～8月28日(土)

入場者：1,081名

「比べて見る」日本や外国にはたくさんの種類のアリがいます。体のようすを比べてみよう。「よく見てみる」顕微鏡やルーペで拡大して、アリの体を知ろう。「のぞいてみる」アリの巣の中はどうなっているのかな。アリはどんな動きをしているだろう。飼い方も紹介します。「食べてみる」日本や世界にはアリを食べるところもあるんだって!! ほんとかなあ…!?? 「匂ってみる」アリはいろんなにおいを出しているらしいよ。「採ってみる」アリを研究する方法や、採集する道具を紹介



協 力：山根正気・中村京平（鹿児島大学）、鹿児島大学総合研究博物館、  
江口克之（長崎大学）、香川大学農学部昆虫学教室

公開  
講座

## 「アリのとり方、飼い方、調べ方」

年月日：2010年7月28日(水)・29日(木)

講 師：伊藤文紀（企画展実行委員会委員長・博物館副館長、農学部教授）

会 場：香川大学博物館実習スペース

参加者：1日目 22名

2日目 22名

第6回  
企画展

## 四国遍路が残した資料

期 間：2010年10月26日(火)～11月27日(土)

入場者：648名

四国霊場八十八ヶ所を巡礼する四国遍路の歴史をたどる資料を展示。遍路地図、「四国徧禮道指南」などの道案内にあたるガイドブック、四国の霊場を廻った遍路の納経帳などを展示。そのほ



かに納め札や旅手形、道具類等、江戸時代から昭和初期までの時代の変化で翻弄された遍路の姿が浮き彫りになる資料330点ほどを展示

第14回  
ミュージアム  
レクチャー

## 「四国遍路が残した資料」

年月日：2010年11月20日(土)

講 師：稲田道彦（企画展実行委員会委員長、経済学部教授）

会 場：香川大学博物館展示室

参加者：53名



第7回  
企画展

## おいしいお肉の向こうには…

期 間：2011年7月22日(金)～8月27日(土) 入場者：1,010名

身近な食材である“ニワトリ”を取り上げ、鶏肉価格が決定する本当の理由を広く知ってもらうことを目的として開催。鶏肉や鶏卵生産の裏側にある農家・研究者の工夫や苦労について、「鶏の種類」、「鶏を育てる環境」、「鶏の健康を守るために」などのコーナーで紹介。動物の品種・飼料・飼育環境といった価格変動の主要因について説明し、香川大農学部で取り組んでいる研究内容と連携させて展示



協 力：都築政起・岡 孝夫（広島大学）、長坂直比路（高知県畜産試験場）、（社）中央畜産会、（社）日本科学飼料協会、（社）アメリカ穀物協会



公開  
講座

### 「たまごが先か？ニワトリが先か？育て方で決まります」

年月日：2011年7月23日(土)・26日(金)・28日(木)  
講 師：松本由樹（企画展実行委員会委員長、農学研究院助教）  
都築政起（広島大学大学院生物圏科学研究科教授・日本鶏資源開発プロジェクト研究センター長）  
長坂直比路（高知県畜産試験場中小家畜課長）  
会 場：香川大学博物館実習スペース・展示室・博物館前スペース  
参加者：1日目・2日目（「鶏を育てる」ということ）7名  
3日目（「鶏を食べる」ということ）8名



第8回  
企画展

## 小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル展

期 間：2011年10月20日(木)～10月24日(月) 入場者：10,445名

小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセルのインストルメントモジュール、搭載電子機器部、背面ヒートシールド、パラシュートの実物等、香川衛星開発プロジェクトの超小型人工衛星の模型等、NPO たけとよ・武豊はやぶさ実行委員会の「はやぶさ」実物大模型、高松市市民文化センター所蔵の国分寺隕石や本館所蔵のアエンデ隕石、鉄隕石や地球最古岩石等を展示



共 催：財団法人日本宇宙少年団香川小惑星分団、かがわ源内ネットワーク  
協 力：独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）、香川衛星開発プロジェクト、NPO たけとよ・武豊はやぶさ実行委員会  
後 援：香川県教育委員会、高松市教育委員会  
協 賛：株式会社STNet、株式会社香川サイエンス、株式会社桜製作所、太洋物産株式会社、株式会社成豊堂、株式会社日進機械、株式会社美巧社、株式会社レアスウィート  
助 成：一般財団法人百十四銀行学術文化振興財団



特別  
講演会

### 「『はやぶさ』から『はやぶさ2』へ」

講 師：吉川 真（「はやぶさ2」プロジェクトマネージャ）

### 「『イトカワ』から探る太陽系の起源」

講 師：坂本尚義（北海道大学大学院教授）

年月日：2011年10月22日(土)  
会 場：香川大学幸町北キャンパス 415教室  
参加者：361名以上



「はやぶさ」から「はやぶさ2」へ



「イトカワ」から探る太陽系の起源

第9回  
企画展

## ジオの世界

期 間：2012年7月19日(木)～9月1日(土)

入場者：1,867名

「地球の歴史」、「鉱物の世界」、「火を噴く大地」、「ゆれる大地」のテーマに沿った展示の他、「香川県の化石」、「極域の岩石」（南極の岩石、エベレスト山頂の岩石、深海底の鉱床）、「讃岐ジオサイト」等を展示。体験教室「作ってみよう！化石レプリカ①（アンモナイト）」、「作ってみよう！化石レプリカ②（三葉虫）」、「【博物館で自由研究】実験してみよう！火山岩と深成岩のちがいを」、「探してみよう！砂の中の小さな宝石」、「観察してみよう！溶岩が流れる様子」を週代わりで午前と午後を実施し、「岩石を割って作ろう！石ころ標本箱」を毎回実施



協 力：岩崎正夫（徳島大学名誉教授）、森 繁（雨滝自然科学館館長）、加藤泰浩（東京大学大学院工学系研究科教授）、川村教一（秋田大学教育文化学部准教授）、清川昌一（九州大学大学院理学府准教授）、向井淳彦（香川県立高松高等学校教諭）、高松市、(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構、アイボスポーツ、(株)大真空、香川大学工学部長谷川研究室・山中研究室

第22回  
ミュージアム  
レクチャー

## 「化石について調べよう」

年月日：2012年7月21日(土)

講 師：寺林 優（企画展実行委員会委員長・博物館長、工学研究院教授）

会 場：香川大学博物館実習スペース

参加者：42名

第10回  
企画展

## サヌカイトは誰が運んだか

期 間：2012年11月3日(土)～12月1日(土)

入場者：544名

香川県の名産サヌカイトは旧石器時代から弥生時代まで石器石材中、西日本で最も広く使用された。中でも坂出市金山のサヌカイトは縄文時代以降最も多量に使用された。その理由を求めて香川大学考古学研究室は平成18年から金山の発掘調査を行い、出土品のほとんどを占める石器石材の板状石核と、中四国の各ムラから出土した板状石核の比較から、広域流通のネットワークを復元し、回答とした。本企画展はその研究報告

第24回  
ミュージアム  
レクチャー

## 「サヌカイトの実験考古学」

年月日：2012年11月10日(土)

講 師：丹羽佑一（企画展実行委員会委員長、経済学研究院教授）

会 場：香川大学博物館実習スペース・展示室

参加者：23名



# ミュージアム・レクチャー

第1回 2009 5/9

## サヌカイト・コレクション

講師

丹羽佑一

(香川大学経済学部教授・博物館長)



参加者:4名

第2回 2009 6/13

## フィールドワークで地球を探る

講師

寺林 優

(香川大学工学部准教授・博物館副館長)



参加者:9名

第3回 2009 7/11

## イルカのからだと海のゴミ

講師

寺山弘樹

(日本ドルフィンセンター長・NPO法人日本ドルフィンセラピー協会)



参加者:11名

第4回 2009 9/12

## 雑草をみて描いてみよう

講師

岡田智子

(岡山市デジタルミュージアム学芸員)

末廣喜代一

(香川大学教育学部教授)



参加者:16名

第5回 2009 10/10

## 昆虫の色や形にはどんな意味があるだろう

講師

安井行雄

(香川大学農学部准教授)



参加者:15名

第6回 2009 11/14

## 瀬戸内今昔観光遊覧

講師

丹羽佑一

(香川大学経済学部教授・博物館長)

稲田道彦

(香川大学経済学部教授)



参加者:30名

第7回 2009 12/12

## 人工衛星KUKAIと香川発宇宙開発

講師

能見公博

(香川大学工学部准教授・香川衛星プロジェクトSTARS主宰)



参加者:9名

第8回 2010 2/13

## 瀬戸内に生息する生物たち

講師

滝川裕子

(香川大学農学部技術補佐員)



参加者:10名

第9回 2010 3/13

## 親子せっけん教室

講師

北條充敏・富田ゆかり

(香川大学情報図書グループ)



参加者:11名

第10回 2010  
5/15

## みんなあつまれ！ わくわく大学たんけん隊

講師

山本珠美

(香川大学生涯学習教育研究センター准教授)

葛城浩一

(香川大学大学教育開発センター准教授)



参加者:29名

第11回 2010  
6/19

## サヌカイトの 考古学入門

講師

丹羽佑一

(香川大学経済学部教授・博物館長)



参加者:7名

第12回 2010  
7/10

## 里山の哺乳類を 解剖する

講師

川口 敏

(香川生物学会常任理事)



参加者:16名

第13回 2010  
10/9

## 花粉を 観察してみよう

講師

松居俊典

(香川大学工学部技術職員)



参加者:14名

第14回 2010  
11/20

## 四国遍路が 残した資料

講師

稲田道彦

(香川大学経済学部教授)



参加者:53名

第15回 2011  
1/29

## みんなあつまれ！ わくわく大学たんけん隊 第2弾

講師

わくわく大学たんけん☆プロジェクト

リーダー:鳥羽謙仁

(香川大学経済学部2年)

監修:山本珠美

(香川大学生涯学習教育研究センター准教授)



参加者:30名

第16回 2011  
6/11

## 煮干しの解剖

講師

松本一範

(香川大学教育学研究院准教授)



参加者:18名

第17回 2011  
7/23

## 星座の物語 ～プラネタリウムを作ろう～

講師

久米咲弥香, 黒瀬翔太

(香川大学教育学部3年)他



参加者:21名

第18回 2011  
10/8

## マンドリンの魅力

講師

木村 竜

(香川大学マンドリン部)他



参加者:4名

# ミュージアム・レクチャー

2011  
第19回 11/5

## プラネタリウムを作ろう

(ミュージアム・レクチャー in 小豆島 第1回)

会場：土庄町中央公民館

講師

山本珠美

(香川大学生涯学習教育研究センター准教授・博物館副館長)



主催：かがわ子ども大学実行委員会  
香川大学博物館  
土庄町教育委員会

参加者：15名

2011  
第20回 11/12

## アリの世界

(ミュージアム・レクチャー in 小豆島 第2回)

会場：土庄町中央公民館

講師

伊藤文紀

(香川大学農学研究院教授・博物館副館長)



主催：かがわ子ども大学実行委員会  
香川大学博物館  
土庄町教育委員会

参加者：10名

2011  
第21回 11/19

## アンモナイト・三葉虫レプリカ制作

(ミュージアム・レクチャー in 小豆島 第3回)

会場：土庄町中央公民館

講師

寺林 優

(香川大学工学研究院教授・博物館長)



主催：かがわ子ども大学実行委員会  
香川大学博物館  
土庄町教育委員会

参加者：19名

2012  
第22回 7/21

## 化石について調べよう

講師

寺林 優

(香川大学工学研究院教授・博物館長)



参加者：42名

2012  
第23回 10/13

## 大雨のひみつ

講師

寺尾 徹

(香川大学アーツ・サイエンス研究院教授)



参加者：22名

2012  
第24回 11/10

## サヌカイトの 実験考古学

講師

丹羽佑一

(香川大学経済学研究院教授)



参加者：23名

2012  
第25回 12/1

## 紙飛行機の魅力

講師

岩中貴裕

(香川大学大学教育開発センター准教授)



参加者：36名

2013  
第26回 3/16

## 骨付き鳥の恐竜学

講師

松本由樹

(香川大学農学研究院准教授)



参加者：33名

2013  
第27回 3/28

## クジラの祖先は4本足で 陸上を歩いていた

講師

石川 創

(公益財団法人下関海洋科学アカデミー-鯨類研究室室長)

寺山弘樹

(株式会社日本ドルフィンセンター代表取締役社長)



参加者：60名

# ものづくり教室 in 香川大学博物館

講師 かがわ源内ネットワーク  
(独) 科学技術振興機構「地域の科学舎推進事業」

第1回 2010/12/4

手作りのおもちやで遊ぼう！



参加者:37名

第2回 2011/1/22

熱気球を作ろう！



参加者:43名

第3回 2011/2/19


レゴロボットで遊ぼう！



参加者:31名

第4回 2011/5/21


スライム作り



参加者:12名

第5回 2011/6/18

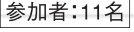
ブーメラン作り



参加者:15名

第6回 2011/7/16


紙コップであやつり人形を作ろう！



参加者:11名

第7回 2011/9/17


ハイパーおりがみ



参加者:11名

第8回 2011/11/19

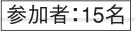
ストロンボーンを作ろう



参加者:8名

第9回 2011/12/17

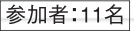
紙皿飛行機を作ろう



参加者:15名

第10回 2012/1/21


空き缶で弓矢を作ろう



参加者:11名

第11回 2012/2/18

空気砲を作ろう



参加者:11名



ブーメラン作り



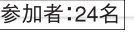
紙コップであやつり人形を作ろう！



空気砲を作ろう

第12回 2012/5/19

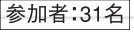
手作り和紙



参加者:24名

第13回 2012/6/16

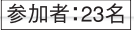
万華鏡づくり



参加者:31名

第14回 2012/7/21


ストロークラフト・スライム



参加者:23名

第15回 2012/9/15

飛び出すカード



参加者:17名

第16回 2012/10/21

おばけコップ  
ダンシング



参加者:15名

第17回 2012/11/17


コイルモーター



参加者:13名

第18回 2012/12/15


電気クラゲ・フランクリン  
モータ・百人おどし



参加者:11名

第19回 2013/1/26

ブンブンごま・  
ヘリコプターごま



参加者:2名



手作り和紙



万華鏡づくり



ストロークラフト・スライム

# 教育活動

## ● 香川大学教育学部博物館学芸員コース

### ◆マイミュージアム(私設博物館)展

- 第1回：2009(平成21)年5月19日(火)～29日(金) 出展6名
- 第2回：2010(平成22)年6月12日(土)～26日(土) 出展6名
- 第3回：2011(平成23)年6月25日(土)～7月9日(土) 出展18名
- 第4回：2012(平成24)年6月19日(火)～30日(土) 出展6名
- 第5回：2013(平成25)年6月18日(火)～29日(土) 出展3名(予定)

## ● 香川大学生涯学習教育研究センター

### ◆平成17年度公開講座

実施日：2005(平成17)年7月26日(火)・27日(水)・28日(木)、  
8月8日(月)・9日(火)・10日(水)

講座名：恐竜を復元しよう

講師：仲谷英夫(香川大学博物館研究機構、工学部教授)

### ◆平成18年度公開講座

実施日：2006(平成18)年5月14日(土)～7月19日(水)

講座名：人類の知的財産を守る

講師：丹羽佑一(博物館委員会委員、経済学部教授)

山本珠美(博物館委員会委員、生涯学習教育研究センター助教授)  
ほか

※平成19年度～22年度の公開講座は、企画展の頁に掲載

### ◆平成23年度公開講座

実施日：2011(平成23)年7月28日(木)・29日(金)

講座名：アリのとり方、飼い方、調べ方

講師：伊藤文紀(博物館副館長、農学研究院教授)

## ● 香川大学希少糖研究センター

### ◆「世界最初に大量生産した希少糖および分離機器」

展示開始記念講演会・説明会

実施日：2012(平成24)年3月17日(土)

会場：講演会 幸町北415教室・説明会 博物館展示室

講演会：かがわ生まれの希少糖で健康になろう

題目：「希少糖を作る」

何森 健(香川大学特任教授)

「希少糖を使う」

徳田雅明(香川大学希少糖研究センター長)

「希少糖を拓げる」

近藤浩二(株式会社希少糖生産技術研究所代表取締役)

主催：香川大学博物館・香川大学希少糖研究センター

## ● 香川大学医学部附属病院ワーク・ライフ・バランス支援室

### ◆児童サマースクール「医学部探検隊」

実施日：2011(平成23)年8月19日(金)

講座名：いのちをたべるといふこと

講師：松本由樹(第7回企画展実行委員会委員長、農学研究院助教)

## ● 放送大学香川学習センター

### ◆平成20年度面接授業

実施日：2008(平成20)年12月13日(土)・14日(日)

科目名：古代瀬戸内の石の文化

講師：丹羽佑一(博物館長、経済学部教授)

### ◆平成22年度面接授業

実施日：2010(平成22)年7月10日(土)・11日(日)

科目名：生命と地球の共進化

講師：寺林 優(博物館副館長、工学部准教授)

### ◆平成22年度公開講演会

実施日：2010(平成22)年12月5日(日)

演題：紫雲山弥生人はどこから来たか

講師：丹羽佑一(博物館長、経済学部教授、放送大学客員教授)

### ◆平成24年度面接授業

実施日：2012(平成24)年10月27日(土)・28日(日)

演題：地球とその歴史を探る

講師：寺林 優(博物館長、工学研究院教授)

## ● 独立行政法人科学技術振興機構

### ◆平成21年度サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト

実施日：2010(平成22)年2月12日(金)・16日(火)・26日(金)

講座名：「モノ」の見方～研究ははじめの第一歩～

「石清尾山の昆虫を調べよう」

伊藤文紀(博物館副館長、農学部教授)

「石清尾山塊の地質を調べよう」

寺林 優(博物館副館長、工学部准教授)

「石清尾山で古墳人に会おう」

丹羽佑一(博物館長、経済学部教授)

連携先：香川大学教育学部附属高松中学校

(延べ受講人数 362人)

### ◆平成22年度サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト

実施日：2011(平成23)年1月18日(火)・2月1日(火)・8日(火)

講座名：「モノ」の見方～研究ははじめの第一歩～

「金山の植生を調べよう」

守屋 均(工学部講師)

「冬の虫たちを調べよう」

伊藤文紀(博物館副館長、農学部教授)

「金山の地質を調べよう」

寺林 優(博物館副館長、工学部教授)

「金山で先史人と会おう」

丹羽佑一(博物館長、経済学部教授)

連携先：香川大学教育学部附属坂出中学校

(延べ受講人数 353人)

### ◆平成24年度サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト

講座名：さぬき自然史探究

丸亀城西高等学校

実施日：2012(平成24)年6月8日(金)・16日(土)・9月8日(土)

「飯野山の植生を調べる」

守屋 均(博物館会議委員、工学研究院講師)

「飯野山の地質を調べよう」

寺林 優(博物館長、工学研究院教授)

「飯野山のアリを調べよう」

伊藤文紀(博物館副館長、農学研究院教授)

土庄高等学校・小豆島高等学校

実施日：2012(平成24)年9月11日(火)・29日(土)

「大麻山周辺の植生を調べる」

守屋 均(博物館会議委員、工学研究院講師)

「小豆島の地質を調べよう」

寺林 優(博物館長、工学研究院教授)

「小豆島のアリを調べよう」

伊藤文紀(博物館副館長、農学研究院教授)

連携先：香川県立丸亀城西高等学校・土庄高等学校・小豆島高等学校

(延べ受講人数 120人)



## ● 独立行政法人宇宙航空研究開発機構

### ◆ディスカバリーキッズ科学実験館コズミックカレッジ2012

実施日：2012(平成24)年12月15日(土)

会場：香川大学研究交流棟5階 研究者交流スペース

テーマ：宇宙開発が拓く、私たちの未来

講師：JAXA宇宙教育センター宇宙教育指導者3名

参加者：午前の部 99名・午後の部 98名

主催：ディスカバリー・ジャパン株式会社

独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)

共催：香川大学博物館・財団法人日本宇宙少年団香川小惑星分団

特別協力：高松ケーブルテレビ



## 研究活動

### ● 学会発表

- ◆中原理恵子・岡野 眞・仲谷英夫・寺林 優・丹羽佑一  
香川大学における大学博物館づくり。  
日本地質学会四国支部第5回講演会（香川大学，2005年12月）
- ◆山本珠美  
香川大学博物館における公開講座の取組～「恐竜を復元しよう」を例に～。  
第1回博物科学会（北海道大学，2006年6月）
- ◆寺林 優・山本珠美・倉橋伴知  
大学と地域の連携を深めるための博物館づくり—香川大学博物館の構想から開館まで—。  
第3回博物科学会（大阪大学，2008年6月）
- ◆岡野 眞・寺林 優  
大学博物館のファシリティマネジメントに関する考察。  
第4回博物科学会（鹿児島大学，2009年5月）
- ◆松下幸司・松本由樹・伊藤文紀・寺林 優  
「来館者とのコミュニケーションがつくる企画展」の試み：  
平成22年度企画展「アリの世界～『〇〇してみる』研究室～」の事例から。  
第6回博物科学会（名古屋大学，2011年6月）
- ◆松本由樹・松下幸司・伊藤文紀・寺林 優  
来館者とのコミュニケーションがつくる企画展—平成23年度企画展「おいしいお肉の向こうには」の事例から。  
第7回博物科学会（京都大学，2012年6月）

### ● 調査研究

- ◆博物館展示用標本特別収集（沖縄県石垣島新石垣空港建設現場地内鍾乳洞の鍾乳石）。丹羽佑一・寺林 優・倉橋伴知，2009（平成21）年3月25日（水）～27日（金），平成20年度香川大学特定施策推進経費（臨時）
- ◆香川大学博物館第8回企画展「小惑星探査機『はやぶさ』帰還カプセル展」。寺林 優・伊藤文紀・山本珠美・松村雅文・古草敦史・岩本直樹，一般財団法人百十四銀行学術文化振興財団平成23年度研究助成
- ◆さぬき自然史探求—地域の貴重な自然史資源の探求とその利活用—。寺林 優・伊藤文紀・守屋 均・松本一範・一見和彦，2012（平成24）年度香川大学地域連携推進経費
- ◆さぬき自然史研究リーダーの養成。寺林 優・伊藤文紀・守屋 均・松本一範・一見和彦，2013（平成25）年度香川大学地域連携推進経費

### ● 共同研究

- ◆パブリック・ヒューマニティーズの方法論：学術標本資料ならびに文化資源のネットワーク型共同利用から創出される学術的専門知と公共社会との融和。寺林 優（代表 出口正之国立民俗学博物館教授），2008（平成20）年度人間文化研究機構総合推進事業（課題番号：20301133）

## 表彰・受賞

### 〈表彰〉

#### ● 感謝状贈呈

- 2010年10月1日 大屋 崇氏 第2回企画展「昆虫のふしぎ」展示協力（学長表彰）  
 2012年2月15日 福田隆宥氏 南極の岩石2点、関連書籍1冊の寄贈  
 2012年5月9日 長坂直比路氏 第7回企画展「おいしいお肉の向こうには…」展示協力及び公開講座講師  
 2012年5月9日 NPOたけとよ・武豊はやぶさ実行委員会 第8回企画展「小惑星探査機『はやぶさ』帰還カプセル展」展示協力  
 2012年5月15日 財団法人日本宇宙少年団香川小惑星分団 第8回企画展「小惑星探査機『はやぶさ』帰還カプセル展」共催（学長表彰）

### 〈受賞〉

#### ● 平成25年度文部科学大臣表彰科学技術賞（理解増進部門）

受賞日：2013年4月16日

受賞者：寺林 優（博物館長、工学部教授）・伊藤文紀（博物館副館長、農学部教授）、山本珠美（元博物館副館長、生涯教育研究センター准教授）、松本由樹（農学部准教授）・松下幸司（教育学部附属教育実践総合センター准教授）

業績名：自然史系標本資料活用の拠点形成による科学への理解増進

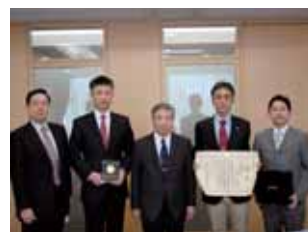
香川県は狭い面積にもかかわらず古くから人口が多く徹底的に開発されてきたため、希少な自然環境はあまり残されていない印象があるが、注目すべき地質や特有の動植物相がみられる。自然史に対する児童生徒および地元住民の理解を深めるだけでなく、自然に関する活動に携わり、さまざまな環境問題の解決にも資する人材の養成が求られている。本活動では、香川大学内に分散している貴重な学術資料を収蔵し、公開・活用するために、四国初となる大学博物館の設置（平成19年4月）および開館（平成20年4月）に尽力した。学内から異なる専門分野の教員が参画し、企画展、公開講座、講演会、ミュージアム・レクチャーなどを多数開催した。さらに、科学技術振興機構のサイエンス・パートナーシップ・プロジェクトによるフィールドワークを中心とした講座・実習を県内の中学校および高等学校と連携して実施した。本活動により、大学博物館を拠点とした自然史科学に関する学内外との交流および協同が実現し、地元住民の自然史系標本資料に対する関心と意識が高まるなど、科学への理解増進に寄与している。



受賞した5名



表彰式



香川大学長に報告



高松市長を表彰訪問

# 報道状況

## 2005 (平成17) 年度

2005年7月11日	NHK高松放送局	香川大学工学部でサヌカイトを展示(ゆうどき香川がいっぱい他)
2005年7月12日	読売新聞(35面)	眠った資料一般に公開 博物館構想スタート まずサヌカイト展示
2005年7月12日	四国新聞(22面)	香川大が「大学博物館」サヌカイトを初展示
2005年7月13日	山陽新聞(32面)	香川大で博物館に 展示第1弾サヌカイト
2005年7月20日	毎日新聞(20面)	香川大で博物館づくり
2006年1月24日	四国新聞(15面)	大学博物館 学術資料 地域に公開
2006年3月6日	四国新聞(3面)	月曜随想「クビナガリュウの化石」

## 2006 (平成18) 年度

2006年8月10日	NHK高松放送局	子供たちが恐竜を復元(ゆうどき香川がいっぱい他)
2007年1月20日	リビングたかまつ(5面)	香川大学博物館 第1回学外特別展「香川大学のあしあと」
2007年1月23日	NHK高松放送局	香川大の資料など展示(ゆうどき香川がいっぱい他)
2007年1月23日	RNC西日本放送	今春 香川大博物館開設記念「香川大学のあしあと」(RNC News リアルタイム)
2007年1月24日	山陽新聞(32面)	研究成果地域に公開 香川大学博物館4月開設
2007年1月24日	山陽新聞(30面)	歩み知る貴重資料 香川大学博物館特別展示始まる
2007年1月24日	四国新聞(19面)	香川大の“お宝”公開「博物館構想」高松で初の学外展覧会
2007年1月25日	朝日新聞(32面)	開かれた大学へ商店街で資料展 香川大
2007年1月26日	読売新聞(27面)	技術や資料 地域に生かせ 香大博物館 初の学外展

## 2007 (平成19) 年度

2008年1月18日	読売新聞(26面)	学外特別展「かがわの里山」
2008年1月22日	KSB瀬戸内海放送	香川大学が自然をテーマに展示会(岡山・香川のニュース)
2008年1月22日	NHK高松放送局	里山の自然展(ゆうどき香川ニュース610他)
2008年1月23日	山陽新聞(28面)	香川大 高松で学外展「かがわの里山」
2008年1月23日	四国新聞(20面)	「香川大博物館」4月開設 研究資料を地域に公開
2008年1月25日	朝日新聞(32面)	香大の里山研究紹介 高松で学外展 チョウや骨格標本展示
2008年2月28日	読売新聞(33面)	香川大に博物館

## 2008 (平成20) 年度

2008年4月12日	リビングたかまつ(8面)	4月24日午後オープン「香川大学博物館」
2008年4月16日	スポーツ報知(25面)	四国初の大学附属博物館で志願者減少止める
2008年4月18日	KSB瀬戸内海放送	四国初 香川大学に博物館(スーパーJチャンネル)
2008年4月24日	KSB瀬戸内海放送	香川大学博物館オープン(岡山・香川のニュース)
2008年4月24日	NHK高松放送局	香川大に博物館 四国初 香川大学にオープン(ゆうどき香川ニュース610)
2008年4月24日	RNC西日本放送	四国初! 香川大学に付属博物館(RNC News リアルタイム)
2008年4月24日	TSCテレビせとうち	香川大学博物館オープン(ザニュースTSC)
2008年4月25日	産経新聞(24面)	香川大に博物館オープン 地域交流拠点目指し
2008年4月25日	山陽新聞(32面)	収集の資料標本を公開 香川大学博物館が開館
2008年4月25日	朝日新聞(32面)	香川大が博物館 研究成果を展示 高松にオープン
2008年4月25日	読売新聞(29面)	香川大博物館が開館
2008年4月25日	四国新聞(25面)	研究成果惜しみなく 香大博物館オープン 全学部の資料展示
2008年5月4日	山陽新聞(23面)	香川大学博物館オープン 知的好奇心がいっぱい
2008年5月9日	NHK高松放送局	大学に博物館(ゆうどき香川ニュース610・中継おじゃまします)
2008年6月3日	RNCラジオ	ウズベキスタンの現代建築(情報てんこもりラジオでDON)
2008年6月6日	朝日新聞(25面)	ウズベキスタンの建築・文化紹介 香川大博物館第1回企画展
2008年6月12日	NHK高松放送局	ウズベキスタンの建築を紹介(ゆうどき香川ニュース610)
2008年6月13日	山陽新聞(28面)	生活彩る小物紹介 香川大博物館 ウズベキスタン展
2008年6月17日	毎日新聞(20面)	四国ミュージアム回廊 香川大学博物館 人工衛星STARSいよいよ宇宙へ
2008年6月23日	RSK山陽放送	「ウズベキスタンの現代建築と世界遺産」展について
2008年6月23日	読売新聞(27面)	ウズベキスタン建築 伝統と華麗 香川大博物館が企画展
2008年7月1日	かがわ探検ミュージアム(15頁)	春オープン!! 香川大学博物館でいろいろな発見を楽しもう!!
2008年7月2日	文教速報(12面)	香川大博物館「ウズベキスタンの現代建築と世界遺産」展を開催
2008年7月29日	RNCラジオ	安井行雄第2回企画展実行委員長(ミュージック・イン・ランチボックス)
2008年7月31日	NHK高松放送局	世界の昆虫展(ゆうどき香川ニュース610他)
2008年8月13日	FM香川	香川大学博物館「昆虫のふしぎ」展(786・SUPER MEDIO)
2008年8月29日	読売さぬきネット	珍しい昆虫いっぱい
2008年8月	RSK山陽放送	「昆虫のふしぎ」展について
2008年9月7日	四国新聞(1面)	一日一言「香大博物館の昆虫展」
2008年9月8日	読売新聞(27面)	擬態昆虫不思議の世界 香川大博物館 標本670点展示
2008年9月12日	高松ケーブルテレビ	「昆虫のふしぎ」展について(PEPTV~地域密着情報系~)
2008年10月22日	文教速報(8面)	香川大博物館の出展協力者に感謝状贈呈
2008年11月1日	かがわ探検ミュージアム(16頁)	香川大学のお宝を見て、研究の成果を知ろう!!
2009年1月1日	かがわ探検ミュージアム(15頁)	大昔の瀬戸内海は陸だった!

## 2009 (平成21) 年度

2009年5月1日	かがわ探検ミュージアム(14頁)	大昔の瀬戸内海は陸だった!
2009年5月23日	リビングたかまつ(13面)	第2土曜は1日香川大生「ミュージアム・レクチャー」始まりました
2009年7月23日	RNC西日本放送	瀬戸内海の生き物と先端技術に触れる 香川大学で企画展(RNC News リアルタイム)
2009年7月23日	KSB瀬戸内海放送	「瀬戸内の海・干潟・海浜の生き物」展(岡山・香川のニュース)
2009年8月1日	NHK高松放送局	瀬戸内海が育む命(ゆうどき香川ニュース610他)
2009年8月2日	産経新聞(24面)	企画展「瀬戸内の海・干潟・海浜の生き物」香川大学博物館
2009年8月28日	FM香川	「瀬戸内の海・干潟・海浜の生き物」展について(786・SUPER MEDIO)
2009年9月3日	朝日小学生新聞(3面)	大学の博物館「香川大学博物館」標本・資料紹介 地域にちなむ企画

2010  
(平成22)  
年度

2010年7月23日	NHK高松放送局	アリの生態を紹介 (645かがわ 他)
2010年8月19日	FM香川	香川大学博物館 第5回企画展「アリの世界」(786・SUPER MEDIO)
2010年10月1日	文教速報(10面)	香川大学博物館で企画展「アリの世界～〇〇してみる研究室～」
2010年10月28日	NHK高松放送局	四国遍路の資料展(ゆう6かがわ 他)
2010年11月8日	山陽新聞(21面)	四国遍路往時に光 江戸期から昭和初期 指南書や納経帳展示
2010年11月11日	四国新聞(22面)	四国遍路の足跡探る 香大で資料展 納経帳や道案内書330点
2010年12月7日	四国新聞(24面)	「はやぶさ」高松で公開 来年10月22、23日
2010年12月15日	NHK高松放送局	「はやぶさカプセル」香川大で展示へ(ゆう6かがわ 他)
2011年1月1日	読売新聞(36面)	「はやぶさ」カプセル展示 10月香川大 本体やパラシュート
2011年1月10日	朝日新聞(17面)	「はやぶさ」の旅 香川でも カプセル、10月に香川大博物館で展示

2011  
(平成23)  
年度

2011年6月25日	NHK高松放送局	大学生のコレクション展(ゆう6かがわ 他)
2011年6月29日	四国新聞(28面)	第3回マイミュージアム展
2011年7月4日	NHK高松放送局	マイミュージアム展(ゆう6かがわ)
2011年7月16日	リビングたかまつ(12面)	第7回企画展「おいしいお肉の向こうには…」
2011年7月23日	NHK高松放送局	鶏肉と卵をもっと知って(ニュース 他)
2011年9月30日	文教速報(13頁)	香川大学博物館が企画展「おいしいお肉の向こうには」
2011年10月1日	リビングたかまつ(3面)	7年間、60億kmの宇宙の旅を終えた小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル展
2011年10月4日	FM香川	第8回企画展(786 SUPER MEDIO)
2011年10月15日	FM815	第8回企画展(みっちゃんのおペラだ～い好き)
2011年10月19日	KSB瀬戸内海放送	あすから「はやぶさ」帰還展(スーパーJチャンネル)
2011年10月19日	RNC西日本放送	“はやぶさ”香川に！あすから公開帰還展(RNC news every.)
2011年10月20日	朝日新聞(35面)	60億キロの旅 きょうから「帰還展」はやぶさの夢 届く カプセルや模型、7点
2011年10月20日	読売新聞(34面)	「はやぶさ」つてすごい内覧会で児童ら感激 きょうから 香川大でカプセル、模型展示
2011年10月20日	山陽新聞(26面)	“勇姿”を県内初公開 小惑星探査機「はやぶさ」きょうから香川大博物館 カプセルや電子機器展示
2011年10月20日	KSB瀬戸内海放送	小惑星探査機「はやぶさ」一般公開(KSBスーパーJチャンネル)
2011年10月20日	NHK高松放送局	小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル展(ゆう6かがわ)
2011年10月20日	OHK岡山放送	宇宙から帰還“はやぶさ”が香川へ(OHKスーパーニュース)
2011年10月21日	四国新聞(21面)	「はやぶさ」カプセルで初公開 香川大学博物館 親子ら宇宙ロマンに浸る
2011年10月21日	日本経済新聞(33面)	「はやぶさ」展示始まる
2011年10月21日	毎日新聞(25面)	実物「はやぶさ」カプセルを展示 香川大博物館
2011年10月21日	産経新聞(22面)	「はやぶさ」の帰還カプセル 香川大学博物館で展示
2011年10月22日	FM815	第8回企画展(みっちゃんのおペラだ～い好き)
2011年10月22～28日	高松ケーブルテレビ	小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル展
2011年10月23日	朝日新聞(30面)	はやぶさの夢 300人感動「帰還展」特別講演
2011年10月23日	四国新聞(23面)	小惑星イトカワ探査の苦勞語る 吉川氏、香川大で講演
2011年10月31日	朝日新聞(27面)	はやぶさ展企画 大成功(讃岐ひと模様)
2012年2月16日	朝日新聞(31面)	南極の岩石香川大に 第1次観測隊の2個、寄贈
2012年3月17日	OHK岡山放送	香川大学「希少糖」の研究成果を発表(OHKスーパーニュース)
2012年3月19日	KSB瀬戸内海放送	希少糖研究“生産装置”を展示(KSBスーパーJチャンネル)

2012  
(平成24)  
年度

2012年4月1日	ライト&ライフ(4頁)	「特集」大学へ行こう！香川大学 図書館や博物館など日常的な活用が可能
2012年5月18日	四国新聞(23面)	はやぶさカプセル展に貢献 宇宙少年団に感謝状 香川大
2012年6月18日	OHK岡山放送	第4回マイミュージアム展(OHKスーパーニュース)
2012年6月19日	KSB瀬戸内海放送	学生が自由に展示「マイミュージアム」(KSBスーパーJチャンネル)
2012年6月20日	朝日新聞(33面)	私のお気に入り 見て
2012年6月26日	四国新聞(24面)	第4回マイミュージアム展
2012年6月29日	毎日新聞(25面)	思い思い「私設博物館」
2012年7月19日	四国新聞(26面)	第9回企画展「ジオの世界」
2012年8月4日～10日	高松ケーブルテレビ	第9回企画展「ジオの世界」
2012年8月23日	朝日新聞(13面)	砂の中に「宝石」キラリ 香川大学博物館鉱物探し体験
2012年8月25日	RNC西日本放送	第9回企画展「ジオの世界」
2012年12月16日	読売新聞(33面)	ガリレオの驚き体感 高松、宇宙科学教室
2013年3月2日	リビングたかまつ(3面)	香川大学博物館 開館5周年記念特別展「フクイサウルスがやってきた！～骨から学ぶ生物進化～」
2013年3月6日	NHK高松放送局	香川大学博物館 開館5周年記念特別展(ゆう6かがわ)
2013年3月7日	NHK高松放送局	恐竜“フクイサウルス”特別展(ゆう6かがわ 他)
2013年3月7日	四国新聞(24面)	香川大学博物館 開館5周年記念特別展
2013年3月7日	KSB瀬戸内海放送	香川に恐竜がやって来た(KSBスーパーJチャンネル)
2013年3月8日	NHK高松放送局	香川大学博物館 開館5周年記念特別展(ゆう6かがわ)
2013年3月8日	読売新聞(31面)	福井の恐竜 香大に“上陸” 博物館 骨格標本など特別展
2013年3月8日	産経新聞(24面)	フクイサウルスがやってきた！開館5周年の香川大博物館 恐竜の骨格標本展示
2013年3月15日	RNC西日本放送	香川大学博物館 入場無料の恐竜展(RNC news every.)
2013年3月16日	朝日新聞(35面)	骨格標本で進化の軌跡 香川大学博物館 恐竜・スナメリなど6体展示

2013  
(平成25)  
年度

2013年4月2日	NHK高松放送局	ミュージアムナビ「フクイサウルスがやってきた！～骨から学ぶ生物進化～」(ゆう6かがわ)
2013年4月2日	RSK山陽放送	香川大博物館 恐竜「フクイサウルス」展示(RSKイブニングニュース 他)
2013年4月9日	朝日新聞(29面)	平成25年度科学技術分野文部科学大臣表彰
2013年4月23日	四国新聞(19面)	香川大学博物館長ら5人に科学技術賞
2013年5月13日	文教ニュース(48頁)	香川大学博物館長ら平成25年度科学分野の文部科学大臣表彰受賞

# 組織

2006(平成18)年度

図書館・情報機構長 代表	前田 肇 岡野 眞 西浦 敦子(～2006.8.31) 黒瀬由美子(2006.9.1～)	学術担当理事・副学長 工学部教授
事務補佐員 事務補佐員		
博物館委員会 工学部・委員長	教授 岡野 眞 講師 末廣 喜代一 教育学部 松下一司 教育学部 丹羽 幸佑 教育学部 丹羽 幸佑 経済学部 丹羽 幸佑 経済学部 丹羽 幸佑 連合法務研究科 丹羽 幸佑 医学部 丹羽 幸佑 医学部 丹羽 幸佑 工学部 丹羽 幸佑 工学部 丹羽 幸佑 農学部 丹羽 幸佑 農学部 丹羽 幸佑 生涯学習教育研究センター 丹羽 幸佑	

2007(平成19)年度

図書館・情報機構長 館長	前田 肇 丹羽 佑一	学術担当理事・副学長 経済学部教授
副館長(研究担当)	寺林 俊英	工学部准教授
副館長(資料担当)	市川 俊英	農学部教授
事務補佐員 事務補佐員	大谷亜樹子 倉橋 伴知	
博物館会議 博物館	館長 丹羽 佑一 副館長(研究担当) 寺林 俊英 副館長(資料担当) 市川 俊英	
工学部	教授 丹羽 佑一	
農学部	教授 寺林 俊英	
教育学部	教授 末廣 喜代一	
教育学部	教授 丹羽 幸佑	
教育学部	教授 丹羽 幸佑	
経済学部	教授 丹羽 幸佑	
経済学部	教授 丹羽 幸佑	
法学部	教授 丹羽 幸佑	
連合法務研究科	教授 丹羽 幸佑	
地域マネジメント研究科	教授 丹羽 幸佑	
医学部	教授 丹羽 幸佑	
工学部	教授 丹羽 幸佑	
農学部	教授 丹羽 幸佑	
生涯学習教育研究センター	教授 丹羽 幸佑	
情報図書グループ	技術職員 寺林 俊英 准教授 丹羽 幸佑 リーダー 大谷亜樹子	

2008(平成20)年度

図書館・情報機構長 館長	前田 肇 丹羽 佑一	学術担当理事・副学長 経済学部教授
副館長(研究担当)	寺林 俊英	工学部准教授
副館長(資料担当)	伊藤 文紀	農学部教授
事務補佐員 事務補佐員	大谷亜樹子 倉橋 伴知	
博物館会議 博物館	館長 丹羽 佑一 副館長(研究担当) 寺林 俊英 副館長(資料担当) 伊藤 文紀	
工学部	教授 丹羽 佑一	
農学部	教授 寺林 俊英	
教育学部	教授 末廣 喜代一	
教育学部	教授 丹羽 幸佑	
教育学部	教授 丹羽 幸佑	
経済学部	教授 丹羽 幸佑	
経済学部	教授 丹羽 幸佑	
法学部	教授 丹羽 幸佑	
連合法務研究科	教授 丹羽 幸佑	
地域マネジメント研究科	教授 丹羽 幸佑	
医学部	教授 丹羽 幸佑	
医学部	教授 丹羽 幸佑	
工学部	教授 丹羽 幸佑	
農学部	教授 丹羽 幸佑	
生涯学習教育研究センター	教授 丹羽 幸佑	
情報図書グループ	技術職員 寺林 俊英 准教授 丹羽 幸佑 リーダー 大谷亜樹子	

2009(平成21)年度

図書館・情報機構長 館長	前田 肇 丹羽 佑一	学術担当理事・副学長 経済学部教授
副館長(研究担当)	寺林 俊英	工学部准教授
副館長(資料担当)	伊藤 文紀	農学部教授
事務補佐員 事務補佐員	大谷亜樹子 倉橋 伴知(～2009.9.30) 鳥山さやか(2009.10.21～)	
博物館会議 博物館	館長 丹羽 佑一 副館長(研究担当) 寺林 俊英 副館長(資料担当) 伊藤 文紀	
工学部	教授 丹羽 佑一	
農学部	教授 寺林 俊英	
教育学部	教授 末廣 喜代一	
教育学部	教授 丹羽 幸佑	
教育学部	教授 丹羽 幸佑	
経済学部	教授 丹羽 幸佑	
経済学部	教授 丹羽 幸佑	
法学部	教授 丹羽 幸佑	
連合法務研究科	教授 丹羽 幸佑	
地域マネジメント研究科	教授 丹羽 幸佑	
医学部	教授 丹羽 幸佑	
医学部	教授 丹羽 幸佑	
工学部	教授 丹羽 幸佑	
農学部	教授 丹羽 幸佑	
生涯学習教育研究センター	教授 丹羽 幸佑	
情報図書グループ	技術職員 寺林 俊英 准教授 丹羽 幸佑 リーダー 大谷亜樹子	

2010(平成22)年度

図書館・情報機構長 館長	柴田 昭二 丹羽 佑一	情報担当副学長 経済学部教授
副館長(研究担当)	寺林 俊英	工学部准教授(教授2011.1.1～)
副館長(資料担当)	伊藤 文紀	農学部教授
事務補佐員 事務補佐員	大谷亜樹子 鳥山さやか(～2010.9.17) 藤城 早希(2010.10.1～)	
博物館会議 博物館	館長 柴田 昭二 副館長(研究担当) 丹羽 佑一 副館長(資料担当) 寺林 俊英	
工学部	教授 末廣 喜代一	
農学部	教授 丹羽 幸佑	
教育学部	教授 丹羽 幸佑	
教育学部	教授 丹羽 幸佑	
教育学部	教授 丹羽 幸佑	
経済学部	教授 丹羽 幸佑	
経済学部	教授 丹羽 幸佑	
法学部	教授 丹羽 幸佑	
連合法務研究科	教授 丹羽 幸佑	
地域マネジメント研究科	教授 丹羽 幸佑	
医学部	教授 丹羽 幸佑	
医学部	教授 丹羽 幸佑	
工学部	教授 丹羽 幸佑	
工学部	教授 丹羽 幸佑	
農学部	教授 丹羽 幸佑	
農学部	教授 丹羽 幸佑	
生涯学習教育研究センター	教授 丹羽 幸佑	
情報図書グループ	技術職員 寺林 俊英 准教授 丹羽 幸佑 リーダー 大谷亜樹子	

2011(平成23)年度

図書館・情報機構長 館長	柴田 昭二 阪本 晴彦	情報担当副学長(～2011.9.30) 情報担当副学長(2011.10.1～)
副館長(研究担当)	寺林 俊英	工学部准教授
副館長(資料担当)	伊藤 文紀	農学部教授
事務補佐員 事務補佐員	片山 恒信 大谷亜樹子 藤城 早希	情報図書グループサブリーダー
博物館会議 博物館	館長 柴田 昭二 副館長(研究担当) 阪本 晴彦 副館長(資料担当) 寺林 俊英	
工学部	教授 丹羽 佑一	
農学部	教授 寺林 俊英	
教育学部	教授 末廣 喜代一	
教育学部	教授 丹羽 幸佑	
教育学部	教授 丹羽 幸佑	
経済学部	教授 丹羽 幸佑	
経済学部	教授 丹羽 幸佑	
法学部	教授 丹羽 幸佑	
連合法務研究科	教授 丹羽 幸佑	
地域マネジメント研究科	教授 丹羽 幸佑	
医学部	教授 丹羽 幸佑	
工学部	教授 丹羽 幸佑	
農学部	教授 丹羽 幸佑	
生涯学習教育研究センター	教授 丹羽 幸佑	
情報図書グループ	技術職員 寺林 俊英 准教授 丹羽 幸佑 リーダー 大谷亜樹子	

2012(平成24)年度

図書館・情報機構長 館長	阪本 晴彦 寺林 俊英	情報担当副学長 工学部教授
副館長(資料担当)	伊藤 文紀	農学部教授
事務補佐員	片山 恒信 ルーツ由佳	情報図書グループサブリーダー
博物館会議 博物館	館長 阪本 晴彦 副館長(資料担当) 寺林 俊英	
工学部	教授 丹羽 佑一	
農学部	教授 寺林 俊英	
教育学部	教授 末廣 喜代一	
教育学部	教授 丹羽 幸佑	
教育学部	教授 丹羽 幸佑	
経済学部	教授 丹羽 幸佑	
経済学部	教授 丹羽 幸佑	
法学部	教授 丹羽 幸佑	
連合法務研究科	教授 丹羽 幸佑	
地域マネジメント研究科	教授 丹羽 幸佑	
医学部	教授 丹羽 幸佑	
工学部	教授 丹羽 幸佑	
農学部	教授 丹羽 幸佑	
生涯学習教育研究センター	教授 丹羽 幸佑	
情報図書グループ	技術職員 寺林 俊英 准教授 丹羽 幸佑 リーダー 大谷亜樹子	

2013(平成25)年度

情報担当副学長 館長	阪本 晴彦 寺林 俊英	工学部教授
副館長(研究担当)	寺尾 徹	教育学部教授
副館長(資料担当)	伊藤 文紀	農学部教授
事務補佐員	岩澤 尚子 ルーツ由佳	情報図書グループサブリーダー
博物館会議 博物館	館長 阪本 晴彦 副館長(研究担当) 寺尾 徹 副館長(資料担当) 伊藤 文紀	
工学部	教授 丹羽 佑一	
農学部	教授 寺尾 徹	
教育学部	教授 末廣 喜代一	
教育学部	教授 丹羽 幸佑	
教育学部	教授 丹羽 幸佑	
経済学部	教授 丹羽 幸佑	
経済学部	教授 丹羽 幸佑	
法学部	教授 丹羽 幸佑	
連合法務研究科	教授 丹羽 幸佑	
地域マネジメント研究科	教授 丹羽 幸佑	
医学部	教授 丹羽 幸佑	
工学部	教授 丹羽 幸佑	
農学部	教授 丹羽 幸佑	
農学部	教授 丹羽 幸佑	
生涯学習教育研究センター	教授 丹羽 幸佑	
情報図書グループ	技術職員 寺尾 徹 准教授 丹羽 幸佑 リーダー 大谷亜樹子	



# The Kagawa University Museum



## 利用案内

- 開館時間 10:00~16:00
- 休館日 日曜日、月曜日、祝日/年末・年始/大学入試センター試験/展示替えの期間等  
※オープンキャンパス、香川大学祭、未来からの留学生、  
かがわけん科学体験フェスティバル等の開催中は開館することがあります。  
※休館日の詳細についてはホームページまたは電話でご確認ください。
- 入館料 無料

## 交通

- JR高松駅から  
【徒歩】30分（駅前広場地下にレンタサイクルあり）  
【ことでんバス】

- 下笠居・香西線  
[11] 弓弦羽（昭和町市図書館経由）行き  
「幸町」下車 徒歩2~3分  
[13] 弓弦羽（県庁前・中央病院経由）行き  
「宮脇町」下車 徒歩5~6分  
[15] 香西車庫（県庁前・中央病院経由）行き  
「宮脇町」下車 徒歩5~6分

- 市民病院ループバス  
[1] 市民病院ループバス東廻り行き  
「香川大学教育学部前」下車 徒歩2~3分  
[2] 市民病院ループバス西廻り行き  
「香川大学教育学部前」下車 徒歩2~3分

- JR昭和町駅から  
【徒歩】5~6分

- ことでん瓦町駅から  
【徒歩】20分（駅地下にレンタサイクルあり）  
【ことでんバス】

- 下笠居・香西線  
[23] 弓弦羽（高松サティ発中央病院経由）行き  
「宮脇町」下車 徒歩5~6分

- 市民病院ループバス  
[1] 市民病院ループバス東廻り行き  
「香川大学教育学部前」下車 徒歩2~3分  
[2] 市民病院ループバス西廻り行き  
「香川大学教育学部前」下車 徒歩2~3分

※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

## ■アクセスマップ



## ■香川大学幸町北キャンパス



## 問い合わせ

- 住所：〒760-8521 香川県高松市幸町1-1
- TEL・FAX：087-832-1300
- E-mail：museum@ao.kagawa-u.ac.jp
- HP：http://www.museum.kagawa-u.ac.jp/

